

翌年のカメムシの発生予測ができます

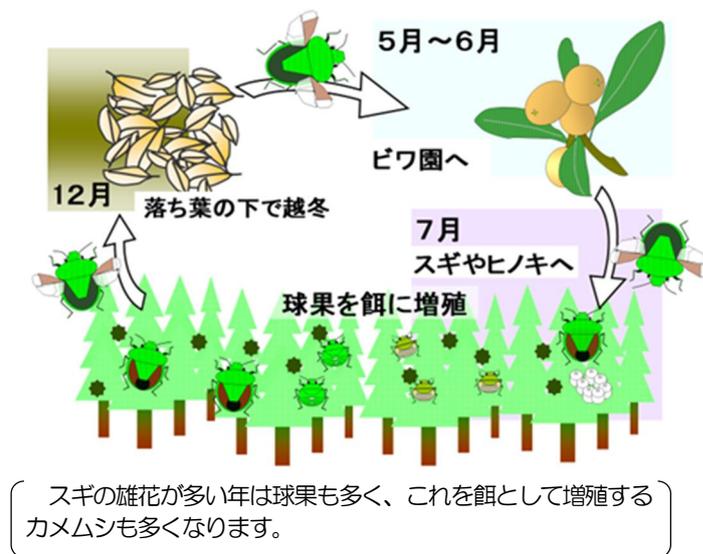
～早期予測によりカメムシからビワを守る～

ビワの果実に被害を及ぼすチャバネアオカメムシの発生数は、年により大きく変動します。そこで、当年のチャバネアオカメムシの誘殺数※とスギ雄花の量から、翌年の発生を予測する方法を開発しました。これにより、チャバネアオカメムシの大発生に備えて対策をとることができるようになりました。 ※「トラップ」に捕まる頭数

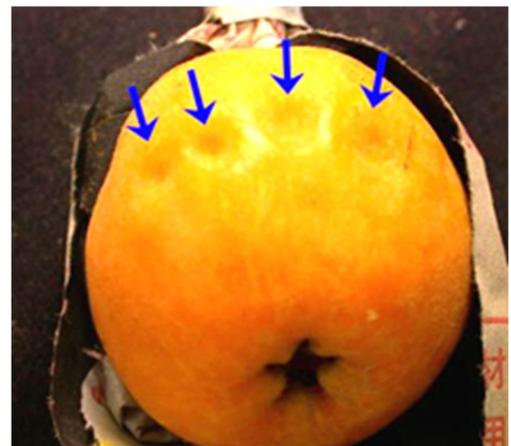
1 成果の内容

- (1) チャバネアオカメムシの発生数を調査するための「トラップ」に捕まる頭数は、年により約 10 頭から約 10,000 頭まで、大きく変わります。千葉県の特産であるビワは、このチャバネアオカメムシに汁を吸われると、商品価値がなくなります。

そこで、4～7月のトラップに捕まるチャバネアオカメムシの頭数とそのエサとなるスギ球果の量に関連する雄花の生産量から、翌年のチャバネアオカメムシの発生数を予測する方法を開発しました。



チャバネアオカメムシの生活史



汁を吸われたビワ果実
(矢印が汁を吸われた跡)

- (2) ビワの収穫時期は5～6月です。チャバネアオカメムシの発生数は前年の8月に予測できるため、大発生が予測された場合は、2～4月に行う袋がけに二重袋を使用することにより、被害を軽減することができます。

2 普及の状況

早期予測の結果は、農作物病害虫発生予察情報として毎年 10 月に公表されており、農業事務所などの指導機関を通じて県内に広く提供され、生産者の被害対策に利用されています。

3 問い合わせ先 千葉県農林総合研究センター

暖地園芸研究所 生産環境研究室 0470-22-2603(代)

4 掲載年月 平成 30 年 1 月 (平成 31 年 3 月更新)